

デジタル時代における郵政事業の在り方に関する懇談会
データ活用WG（第3回）
議事要旨

- 1 日時：令和3年4月27日（火）17:05～18:11
- 2 場所：WEB 会議による開催
- 3 出席者：
 - ・ 構成員
谷川主査、高口構成員、小林構成員、中川構成員、中村構成員
 - ・ オブザーバー
日本郵政株式会社
日本郵便株式会社
 - ・ 総務省
佐々木郵政行政部長、菱沼企画課長、渋谷郵便課長、高田貯金保険課長、
徳光信書便事業課長、谷内検査監理室長、長坂国際企画室企画官
- 4 議事
 - (1) 事務局より、資料3-1に基づき説明が行われた。
 - (2) 全構成員・オブザーバーによる発言の後、全体を通じて、意見交換が行われた。
- 5 構成員等からの主な意見
 - 本WGで取り上げたデータ活用に関する各論点について日本郵政がどのように認識するかという点と、その打ち返しを国・総務省がどのように評価し、今後の対応に生かしていくかという点が重要である。
 - 日本郵政グループのリアルとネットの両面を有する全国的なネットワークは、大規模な実証事業を行うのに適していると思う。長期的な視点で、地域課題の解決に向け、先端技術の実証に取り組むことは非常に有意義なので、総務省のサポートにも期待したい。
 - オプトアウト方式によるデータ活用については、信書の秘密の保護に関する検討や、マルチステークホルダーによるルール作りなど、複数年度をかけて中長期的に取り組んでほしい。併せて、日本郵政グループには、組織としてのプライバシーガバナンスの構築もしっかりとお願いしたい。

(以上)